

磐城時報

第九十號
日刊
編輯部 石城郡平町南町十四
印刷部 石城郡平町南町十四
電話 磐城 三三三三
代印 所加納 活版所
印刷 所加納 活版所
廣告料 一行一月 金拾圓
一行三月 金廿圓
一行半年 金三拾圓
一行一年 金五十圓
日刊 日曜、祭日 休刊

補助を當てにせず

仲ノ作築港を計劃

町負擔は一萬圓

大部分は漁業の歩金

石城郡江名町仲ノ作港は縣補助による漁港修築が望み得なかつたので同町は緊縮の今日に遭つて果して如何なる方策をめぐらすか注目されて居たが同町は緊急止むを得ぬ事業なので縣補助の有無を問はず愈々昭和五年年度から總工費十萬圓約五ヶ年の繼續事業として自力を以て築港に着手することになつた。右について河野町長は語る。

仲ノ作港に於ける漁業は益々發展し昭和三年には發動機船三十五隻だつたのが現在では實に五十一隻の多きに達して論である。云々

解散を見越して

社民黨活躍

本部から特派員を迎へ

濱三郡に遊説

政治期節になつて常磐地方に於て無産黨の勢力を擴張するには絶ける無産黨の活躍は相當注目を好む機會なので同支部では總選着いてゐるが、社民黨衆磐城の準備を兼ね、面黨勢の擴張支部では此の程第五回の擴大を圖る爲めに機關紙の利用、遊説部を閉き總選舉の對策について、説部、宣傳部を新設し、遊説部を協議を重ね總會解散に依る總本部から特派員を派遣させ、選舉の候補者を内定した由であつたが、双葉、相馬の主要町村に於て、不景氣が深刻になるに連つて一大遊説陣をなす事となりて無産黨に参加する者も増したつたが、更に同黨では借地、借

とに一大改革をなし青年を登用して一大飛躍を發表した後無産黨の社民黨衆支部が黨勢擴張について猛烈な進出振りを示して來たので石城地方政界は活氣を呈して來た。

緊縮委員會

石城郡内

村役場で公私經濟緊縮實行委員

會を開き左の件を協議した。

一、時間期限の勵行、二、婚儀、祝會祭事、三、年賀回禮、四、年始中元歳暮廢止、五、葬祭禮廢止

江名町の小作民

二割輕減を交渉

地主側が應ぜぬため

平署で警戒中

石城郡江名町小作人鈴木嘉作外約三十名は水害のため收穫高が改正され従來より五日間短縮されたので郵便局では一層繁忙を非常に感じたとして協議の結果小作料二割輕減を交渉し七日地主側が同意した。地主側は小作料四割(田約十五町歩所論其他の方に出る丈け)外數名に交渉したが、地主側は小作料に増加するのので果一反歩二石の收穫あり年作運れる虞があるから包裝を完全だとの理由で要求に應じないの、尚取扱規定左の如くである。一、特別取扱期間 十二月二十日より廿九日まで、二、特別取扱をなし得る郵便物 書狀、葉書、名刺、三、取扱地域 内地、臺灣、樺太、朝鮮、滿洲、南洋群島、支那、四、差出方法 「年賀郵便」と記載したる紙札を附し一束とする事、但し数量の少きものは「年賀郵便」と表記したる封紙に入れポストに投入するも差支なし。

湯本から取水交渉で

好間村會を開く

灌漑水が不足するので

解決までには曲折を見やふ

石城郡湯本町では年々湯水時に價のたつて平町に於ける有産階級飲料水に苦しみられるのでこの家數氏が強制的な差押處分を執るから逃れるべく本松町水行された程である。斯くの如く道を完成した吉田技師を招聘し銀行が警戒を續けてゐるために工費三十萬圓を以て上水道を益々金融は逼迫し金融界の恐慌計畫實現を期すべく目下設計中以來増加を重ねて來たが好間村内を流れる好間川にのみが極めて増加すると云ふなつてゐる關係で同村に取水に關し諒解方を交渉したので好間村では十八日午後二時同村役場會議室に於て村會を開き右問題に關し第一回の協議をなしたが好間川から引水すれば同村内の灌漑水に相當影響を齎すので平警察署では歲末になつて種々折があるものと見られる。

非常召集で

歳末警戒

平署の取締り

平町地方は歲末になつて益々金融が逼迫し平町の大商店は新年大賣出しの準備に投資を開始したが何せ一般が不景氣なのでの上餅代として若干を惠與するに子供三人の家族、父が盲目で投資をなしても豫想した程の事となり平町の分は十九日迄調毎夜遅くまで按摩を稼ぎながら賣上げなく却つて損をすることを恐れたが、その中には「救ごうにか一家の壽命をつないで末である、金融の逼迫は一般の濟を受けては學校へ行つてゐる、父が朝遅いので一番上の不景氣も其の原因であるが平町子供が人に後指をさされて可哀男の兒が繞イモを五錢買つて弟の取引をなし貸付等をしない方が確いので餅も作つてやります」とどうして發校するといふ、一般に對して脱走的營業を續けてゐた「明日の米にさへ差しか深利化してゐるので署員も驚いて常磐銀行平支店の如きものへるといふ氣の毒な家なのだが、彼等も各方面からの方針を嚴守し而も從來の情實のさういふはれると人より余計に施暖い情につ、まれて貧しい中に取引を撤廢する目的からか、舊してやりたくなる」と係員も涙も明る正月を迎へることであらう。

涙なしには聞かれぬ

歳末の悲惨な家族

十九日まで調査した

平町の貧困者

平町は依然引締り、融が逼迫し平町の大商店は新年大賣出しの準備に投資を開始したが何せ一般が不景氣なのでの上餅代として若干を惠與するに子供三人の家族、父が盲目で投資をなしても豫想した程の事となり平町の分は十九日迄調毎夜遅くまで按摩を稼ぎながら賣上げなく却つて損をすることを恐れたが、その中には「救ごうにか一家の壽命をつないで末である、金融の逼迫は一般の濟を受けては學校へ行つてゐる、父が朝遅いので一番上の不景氣も其の原因であるが平町子供が人に後指をさされて可哀男の兒が繞イモを五錢買つて弟の取引をなし貸付等をしない方が確いので餅も作つてやります」とどうして發校するといふ、一般に對して脱走的營業を續けてゐた「明日の米にさへ差しか深利化してゐるので署員も驚いて常磐銀行平支店の如きものへるといふ氣の毒な家なのだが、彼等も各方面からの方針を嚴守し而も從來の情實のさういふはれると人より余計に施暖い情につ、まれて貧しい中に取引を撤廢する目的からか、舊してやりたくなる」と係員も涙も明る正月を迎へることであらう。

早く差出せ

年賀郵便は、十九日午後七時から平町南町平三、取扱地域 内地、臺灣、樺太、朝鮮、滿洲、南洋群島、支那、四、差出方法 「年賀郵便」と記載したる紙札を附し一束とする事、但し数量の少きものは「年賀郵便」と表記したる封紙に入れポストに投入するも差支なし。

自殺し損ねた 運轉手風の男

松ヶ岡公園線路で

十九日午前六時頃石城郡内郷村者は結東して一路邁進すること
大字御臺松ヶ岡公園線路となり新人永山直猪、吉田太郎
線路上に列車に跳ね飛ばされた廣井將之、緑川良美、志賀久壽
らしく頭部その他に重傷を負ひ氏等發起となり顧問に松本健吾
虫の息になつてゐる二十七八歳高萩正一、酒井猶治氏を擧げ五
前後一見運轉手風の男を通行人日會を設立して之が機關となし
が發見届け出たので平署から蠶糸業及政治、社會問題に就て
市毛部長出張視察したが身元不審關することゝなつた、然して
明である、所持品を調べた處西明春一月初旬盛大に平町に於て
洋剃刀があり尙ほ千葉縣長生部發會式を擧げるべく發起人は目
茂原村内山三藏殿、誠よりと表下これがため奔走中であるが郡
のみに書いた葉書、現金十圓八下六十五名を有する縣立蠶業校
十一錢を所持してゐたが、寮す同窓生の活躍は郡下蠶業家の注
るに事情があつて自殺するため目的となつてゐる。

飲酒中に 同僚から盗む

鎌田遊廓で捕はる

石川郡川東村生れ當時石城郡好
間村大字上好間町田自轉車販
賣業福田秋正(二四)は去る十三
日午後八時頃好間村網川隆知外
一名と石城郡内郷村大字宮料理
店昭和亭方に登樓四圓二十錢分
を飲食し同僚網川が便所に行つ
た隙を窺ひ網川所有の現金十圓
在中の風呂敷包みを窃取して逃
走しその足で平町鎌田町五色町
遊廓萬歳樓に登樓娼妓小道を相
方として豪遊した事を發覺平署
に捕はれた。

五日後創立

石城養蠶家

石城郡に於ける蠶糸界は近年長
足の進歩をなしたが最近平町に
片倉製糸場の設立を見、郡下養
蠶家の進路は多難となつて來た
此處に於て同郡縣立蠶業校出身

教員醜聞

双葉生

政治家が疑獄事件に連座して
治道徳を説くのが、教育家が
教へ子の前では大變道徳堅固
なやうな面つきをして、而も
蔭で女教員などに魔の手を延
ばしてゐる位世間を小馬鹿に
してゐるものはない。
これは人を殺すことを目的と
して殺人を敢てするものより
もつと悪いことだと思ふ、大
體教育者に対する風紀問題と
いふやうなことは毎縣會毎に
問題になることだが縣會度に
問題になることは左様である
育の風紀問題は亂れてゐるの
ではなから、而も縣會議員の
耳に入るのはその全部でない
ことに悉くは終るのみに出され
ものと吾々は見る。
最近双葉郡の山林郷として
○川のあの美しい水源地の源
を發してゐるある村に正に世
間知られざるその尤なるも
のの盛んから、而も青年團や村
運動に狂狂してゐるの姿が
だか、少くも教育家は心の教
育家でなければならぬ、惡
く許されるものではない、少
くも共教育家である以上今少
の必要がありはしないか、採
み消しは免れればそれでいい、
と云ふのは免れて耻なき厚顔
の徒だ。
風紀問題に關して君があの事
件を耻ないといふなら別問題
だが、其選科正教員と某女教
員が辭任届つても提出せず、
泉に入り浸つてゐた事實を君
が校長としての責任を感じな
らぬか、而も偶々青年團員等
を騒がせ、出で汚い限りでは
いかに、
會では双葉郡の武蔵源とい
はれた涼風美俗を以て知られたい
○の村がその上郡内の水源地
の美俗が教育家によつて汚
されるに至つては呆れ返らざ
るを得ない。

移轉廣告

外科 一般外科 内臟外科
性病科 X光線科
入院隨意(自炊の便あり)
元赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話 四七五

花柳病科 專門

平町六丁目橋際
木村外科病院
電話 三〇九番

ニッポンレコード新荷着

戀慕小唄

(松竹映畫)
「軒の燕は今年も來たに
なんぞ歸らぬあの人」
思ひ出す思慕の罪か
イェ、思ひ出させる主の罪」
回此外種々流行新譜が取揃ひました、御正月の御樂みには
非御買上を、蓄音器の修繕は安く早く
電話 一九番 大谷時計病院

治淋新劑

絶無 廣く賞讃される、所以也
強タカジン
特約店 大平屋藥店
平町一丁目
電話 四六二番

新妻眼科醫院

平町字紺屋町
入院應需 ◆看護婦一名至急募集

新荷着

子供洋服
均一賣出し
貳圓五拾錢
其ノ他
ツヤルヤル店
平町四丁目 電話 一〇四

例年の通り吉日謝恩大興行

十九日替り
澤田清熱演
塚原小太郎大會
前後篇全部上映
◆終列車の女
詩味豊溢人生哀詩
松日活平館
均一錢卅等特、錢廿等壹、錢十等貳 料入場

耳鼻咽喉科 專問

平町仲田町七一
新築場所 合津醫院
電話 五九五番